



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 26 日

上場会社名 JFEシステムズ株式会社 上場取引所 東証二部
 コード番号 4832 URL <http://www.jfe-systems.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩橋 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 新原 晃二 TEL (03)5637-2100

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	6,846	15.0	32	-	30	-	21	21.8
19年3月期第1四半期	5,955	6.4	44	-	42	-	27	-
19年3月期	33,948		1,278		1,284		303	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	278.85	-
19年3月期第1四半期	356.49	-
19年3月期	3,858.92	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	13,686	7,799	55.2	96,257.21
19年3月期第1四半期	15,260	7,726	49.1	98,393.21
19年3月期	16,997	8,052	45.9	99,342.78

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
	第1四半期末
(基準日)	円 銭
19年3月期第1四半期	-
20年3月期第1四半期	-

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
中間期	15,500	0.2	300	826.4	300	674.7	110	-	1,400.73	
通期	34,400	1.3	1,470	14.9	1,470	14.4	770	154.1	9,805.16	

4 . その他

- | | | |
|---|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | : | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : | 無 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : | 有 |

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4 . その他 をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

中間期及び通期の連結業績予想を修正しております。連結業績予想に関する事項につきましては、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】3 . 連結業績予想に関する定性的情報 をご参照下さい。

上記の業績見通しは現時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠して投資判断されることはお控えいただきますようお願いいたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期(平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 6 月 30 日まで)における我が国経済は、7 月 11 日発表の内閣府 7 月月例経済報告で国内民間需要に支えられた景気回復維持の判断が示されるなど、景気の回復は戦後最長を更新し続けております。

情報サービス業界におきましては、7 月 6 日発表の経済産業省特定サービス産業動態統計調査で 5 月の情報サービス業売上高は前年同月比 6.5%の増加となり、4 月に引き続いての増加基調が明らかになるなど足下の IT 需要は堅調であり、この環境は今後も継続するものと思われま。しかしながら顧客の IT ガバナンスの向上による投資回収メリットに対する要求厳格化を背景に、同業各社間の競争は厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループは市場環境の変化に対応し持続的な成長を実現するため昨年策定した中期経営計画(平成 18~20 年度)の重点テーマである 安定的顧客基盤の確立、 当社固有のコアソリューションの装備、 開発要員体制の強化、 不採算案件の発生防止、 に継続的に取り組んでおります。

当第 1 四半期の業績は、J F E スチール向け売上高は前年同期に比べ減少いたしました。金融業を中心とした一般顧客向けと J F E グループ会社向けの売上高が前年同期に比べ増加し、全社の売上高は前年同期比 15.0%増の 6,846 百万円になりました。

利益につきましては、第 1 四半期の特性により売上高が少ないため第 2 四半期や第 4 四半期と比べると利益水準は低くなっておりますが、上記の増収効果により経常利益は前年同期の赤字から黒字に転じ 30 百万円となりました。四半期純利益は、当第 1 四半期より当社において「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金等に関する監査上の取扱い」を適用し、役員退職慰労引当金繰入額のうち過年度相当額 61 百万円を特別損失に計上したため 21 百万円の赤字となり、前年同期比の改善額は 6 百万円にとどまりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

第 1 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 3,311 百万円減少し 13,686 百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が前連結年度末に比べ 3,760 百万円減少したことが主な要因であり、売上債権の回収によるものであります。

一方負債の部では、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ 717 百万円減少したことに加え、売上債権の回収に伴い短期借入金を含むその他流動負債が前連結会計年度末に比べ 2,428 百万円減少したこと等により負債合計は前連結会計年度末に比べ 3,058 百万円減少し 5,886 百万円となりました。

純資産は剰余金の配当による減少が 219 百万円あることと、第 1 四半期純利益が 21 百万円の赤字であることを主因として前連結会計年度末に比べ 252 百万円減少し 7,799 百万円となり、自己資本比率は 55.2%、1 株当たり純資産は 96,257 円 21 銭となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期は、売上高、経常利益ともに当初の計画通り推移しており、売上高、営業利益、経常利益については平成 19 年 4 月 26 日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありませんが、4 ページ「【定性的情報・財務諸表等】4. その他 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更」に記した通り、当第 1 四半期より当社において「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金等に関する監査上の取扱い」を適用し役員退職慰労引当金を計上することとしたため、そのうち過年度相当額を新たに業績予想に織込んだ結果、中間純利益と当期純利益は当初の業績予想に比べそれぞれ 40 百万円減少する見通しであります。

4 . その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当四半期より、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金等に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第 42 号 平成 19 年 4 月 13 日)を適用しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当事業年度の一般管理費は 7 百万円増加し、特別損失は 61 百万円増加しており、営業利益、経常利益はそれぞれ 7 百万円減少し、税引前当期純利益は 68 百万円減少しております。

5 . (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末	当四半期末 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期 末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	284,132	325,933	41,800	14.7	237,814
受取手形及び売掛金	4,061,805	4,207,559	145,753	3.6	7,968,270
たな卸資産	4,820,241	3,010,559	1,809,682	37.5	1,958,928
その他	1,221,892	1,156,059	65,832	5.4	1,831,528
流動資産合計	10,388,071	8,700,111	1,687,959	16.2	11,996,541
固定資産					
有形固定資産	1,819,807	1,771,043	48,763	2.7	1,768,201
無形固定資産	1,467,193	1,347,557	119,636	8.2	1,380,993
投資その他の資産	1,585,081	1,867,328	282,247	17.8	1,852,029
固定資産合計	4,872,082	4,985,929	113,847	2.3	5,001,224
資産合計	15,260,154	13,686,041	1,574,112	10.3	16,997,766
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	1,563,598	1,587,350	23,752	1.5	2,305,130
その他	5,452,971	3,588,943	1,864,028	34.2	6,017,840
流動負債合計	7,016,570	5,176,294	1,840,276	26.2	8,322,970
固定負債					
退職給付引当金	492,454	641,108	148,653	30.2	603,671
役員退職慰労引当金	15,776	60,237	44,461	281.8	9,779
その他	8,532	8,532	-	-	8,532
固定負債合計	516,764	709,878	193,114	37.4	621,983
負債合計	7,533,334	5,886,173	1,647,161	21.9	8,944,954
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	1,390,957	1,390,957	-	-	1,390,957
資本剰余金	1,959,235	1,959,235	-	-	1,959,235
利益剰余金	4,133,339	4,198,359	65,020	1.6	4,440,141
株主資本合計	7,483,532	7,548,552	65,020	0.9	7,790,334
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	1,294	2,009	715	55.2	1,482
土地再評価差額金	12,535	12,535	-	-	12,535
評価・換算差額等合計	11,241	10,526	715	6.4	11,053
少数株主持分	232,045	240,789	8,743	3.8	251,423
純資産合計	7,726,819	7,799,868	73,049	0.9	8,052,812
負債、純資産合計	15,260,154	13,686,041	1,574,112	10.3	16,997,766

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 : 千円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成 19 年 3 月期 第 1 四半期〕	当四半期 〔平成 20 年 3 月期 第 1 四半期〕	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 3 月 期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	5,955,539	6,846,149	890,610	15.0	33,948,810
売上原価	4,867,975	5,686,429	818,453	16.8	28,431,916
売上総利益	1,087,563	1,159,720	72,156	6.6	5,516,893
販売費及び一般管理費	1,132,136	1,127,371	4,764	0.4	4,238,010
営業利益 (又は営業損失)	44,572	32,348	76,921	-	1,278,883
営業外収益	3,695	4,197	502	13.6	37,297
営業外費用	2,078	6,295	4,217	202.9	31,241
経常利益 (又は経常損失)	42,956	30,250	73,206	-	1,284,939
特別利益	-	-	-	-	85,119
事業譲渡益	-	-	-	-	80,030
貸倒引当金戻入益	-	-	-	-	5,089
特別損失	-	-	-	-	710,876
役員退職慰労引当金 繰入額	-	61,100	61,100	-	-
開発中止損失	-	-	-	-	480,619
本社移転費用	-	-	-	-	132,117
外へ対応損失	-	-	-	-	98,139
税金等調整前四 半期(当期)純利 益 (又は税金等調整前 四半期(当期)純損 失)	42,956	30,849	12,106	28.2	659,183
税金費用	9,426	2,471	6,954	73.8	342,440
少数株主損益	5,534	6,479	945	17.1	13,700
四半期(当期)純 利益 (又は四半期(当 期)純損失)	27,995	21,898	6,097	21.8	303,041